

令和 4 年 4 月 21 日現在

機関番号：12501

研究種目：挑戦的研究（萌芽）

研究期間：2017～2021

課題番号：17K19865

研究課題名（和文）システム思考に立脚した地域包括ケアシステム構築方法論と評価用ロジックモデルの開発

研究課題名（英文）development of methodology on community based integrated care system development and evaluation framework based on system thinking

研究代表者

堀井 聡子（Horii, Satoko）

千葉大学・医学部附属病院・特任准教授

研究者番号：70617422

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 4,800,000円

研究成果の概要（和文）：看護系学生や保健師等の「システム思考に基づく健康問題の分析と課題設定」と「地域包括ケアシステム構築の体系的評価」に関する能力強化を目的に、地域包括ケアシステム構築のプロセスを段階的に系統立てて学修できるオンラインツールを開発した。学習ツールは、実際のデータに基づく事例を用いて、チーム単位で地域包括ケアシステム構築の各段階（情報収集、アセスメント、計画立案、実施・評価）を体験できるもので、教員がチーム学習をサポートできるように段階ごとに到達度を確認する管理機能も付与した。オンラインツールは研究班内で試行し実用性などを検討した。また、事例のベースにした調査結果は論文化し国際誌に公表した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究班で開発した学習ツールは、保健師等による地域包括ケアシステム構築のプロセスの系統立てた学修を促すだけでなく、チーム単位での学習が可能であり、また、メンバー間で360度評価を行うリフレクション機能を付与したため、システム思考と協働のためのリーダーシップ開発が可能になると考えられる。国内外では社会変革を起こすチェンジエージェントの育成のための教育方法論の確立が必要とされており、本研究で開発した学習ツールは、チェンジエージェントに求められるシステム思考とリーダーシップの開発に資することから、教育方法論の確立に寄与したと考えられる。

研究成果の概要（英文）：An online learning tool was created for students and municipal public health nurses to learn the process of creating a community based integrated care system in a step-by-step systematic manner.

The learning tool is structured each step of the process of a community based integrated care system (information gathering, assessment, planning, implementation, and evaluation) is followed in sequence, and a management function was added to allow faculty members to check the level of achievement at each step to support team learning. In addition, a model scenario was developed based on the results of a survey conducted by the research team as a case study for use in team learning, and the survey results which was used for scenario were published in an international journal.

研究分野：地域看護学

キーワード：人材育成 保健医療行政

1. 研究開始当初の背景

社会構造や人口構造の変化、それに伴う疾病構造の急速な変化は、わが国のみならず国際的な現象である。かかる状況下「保健医療専門職の教育に関する専門委員会」は、ヘルスシステム改革とシステムを支える保健医療専門職の教育改革の必要性を指摘、とりわけ保健医療専門職の教育においては「社会変革をおこす人材(チェンジエージェント)」の育成の不可欠であると述べている。そして、チェンジエージェントの育成においては、リーダーシップ開発やシステム思考などの能力獲得のための教育方法論の確立が必要と提言した。このうち、システム思考とは「表面に現れている一部分ではなく、全体の構造とその構造を構成する要素間の相互作用を捉える」思考法である。

わが国では、速な少子高齢化の進展に対応するため、市町村等には地域包括ケアシステムの構築を推進することが介護保険法で定められているが、厚労省は地域包括ケアシステム構築のプロセスを示しているものの、その具体的な方法論は確立しておらず、地域によってその対応や結果に差が生じているのが現状である。

こうした状況下、本研究代表らは、地域ケアシステム構築のための問題分析や計画立案・評価のためのツール等を開発し、国立保健医療科学院の自治体保健師等を対象とした研修を通じて実践レベルへの普及に努めてきた。しかし、今日の健康問題の複雑化に伴い、地域包括ケアシステム構築の推進にかかわる保健師等看護職の能力強化のためには、より革新的な方法論の確立が必要と考えられた。そこで、本研究では、地域包括ケアシステムの構築を推進するため、システム思考に基づく新たな問題分析や課題設定の方法論・ツールの確立とそれと連動した評価枠組みとなる評価用ロジックモデルの開発を目的とした。

2. 研究の目的

複雑化した健康課題に応える地域包括ケアシステムの構築を推進するため、保健師等地域で活動する看護職の「システム思考に基づく健康問題の分析と課題設定能力」および「地域包括ケアシステム構築の体系的評価に関する能力」の強化を目的とした方法論を確立し、同方法論を円滑に実践するためのツールを開発することを目的とした。

3. 研究の方法

システム思考、地域アセスメント、地域包括ケアシステム構築に関する文献レビュー、事例収集をもとに、研究班内で、学習ツールの目的、構成、機能などを決定した。学習に用いる事例(モデルシナリオ)の作成では、国内および開発途上の地域における健康問題に関する文献レビューおよび研究班のメンバーが実施した研究成果を用いて、実際のデータに即したシナリオを作成した。

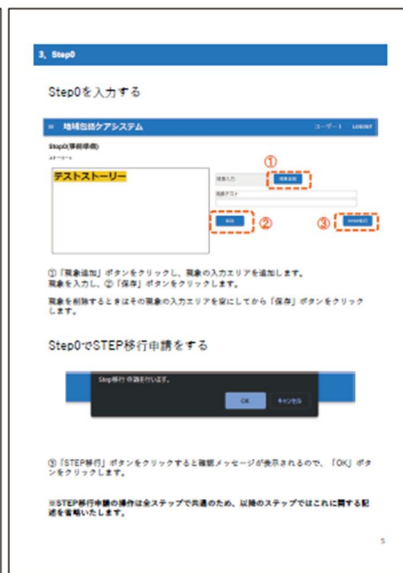
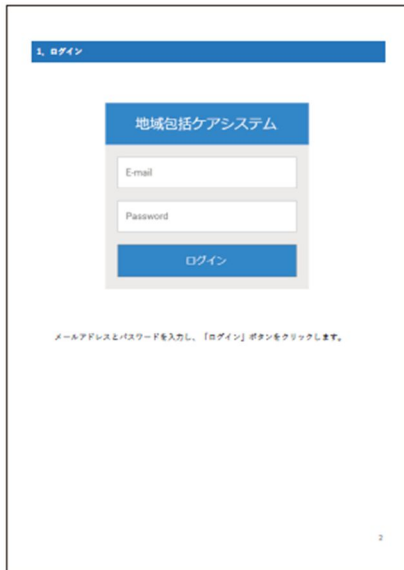
4. 研究成果

学生および自治体保健師等が地域包括ケアシステム構築のプロセスを段階的に系統立てて学習するためのオンライン学習ツールを作成した。計画時は紙媒体でのツールを想定していたが、研究期間中に発生した新型コロナウイルス感染症パンデミックの影響により、多くの大学等でオンライン教育を実施していたことから、遠隔でも使用可能なオンライン型にした。

学習ツールは、地域包括ケアシステム構築の各段階(情報収集、アセスメント(優先課題の特定)、計画立案、実施・評価)をチームで共同作業をしながら進めていく過程で、そのプロセスに必要な能力を獲得できるようにした。本ツールの特徴は、システム思考と協働力を鍛えるために、チーム単位での学習が可能なツールとしたこと(個人単位では把握できない地域の全体の構造とその要素をチームの総合力で見出すことが可能になる)、また、学習の最後にリフレクションのページを設け、チーム間での360度評価を行うことにより、協働のためのリーダーシップ開発を促すことを可能にした点である。加えて、教員がチーム学習をサポートできるよう、段階ごとに教員が到達度を確認し、到達レベルに達したチームのみが次の段階に移行できるよう、教員による管理機能も付与した。

チーム学習で取り組む地域包括ケアシステム構築の対象事例には、本研究班が作成したモデルシナリオだけでなく、実際の自治体情報など(自治体が作成しているユーチューブ動画など)を取り込める機能を付与した。またモデルシナリオは、国内の事例だけでなく、国外の事例も作成し、地域や健康課題が複雑化しても対応できる能力が強化できるようにした。オンラインツールは研究班内で試行し実用性を検討した。また、最終年度にはモデルシナリオのベースとなった調査結果を論文化し、国際誌に公表した。

以下が開発したオンラインツールの実際(学生用ページ)である。



4. Step1

Step1を入力する

①「画像追加」ボタンをクリックし、画像の入力エリアを追加します。
画像を入力し、②「保存」ボタンをクリックします。

画像を削除するときはその画像の入力エリアを留してから「保存」ボタンをクリックします。

8

5. Step2

Step2を表示する

サイドメニューの「Step2」をクリックしてStep2の画面を開きます。

9

5. Step2

Step2を入力する

①「ファイル選択」ボタンをクリックし画像を選択します。「コメント」を入力します。
その際②「保存」ボタンをクリックします。

画像を削除するときは③「クリア」ボタンをクリックします。

10

6. Step3

Step3を表示する

サイドメニューの「Step3」をクリックしてStep3の画面を開きます。

11

6. Step3

Step3を入力する

①「詳細グループ追加」ボタンをクリックして詳細グループ入力エリアを追加し、詳細グループを入力します。

②「ファイル選択」ボタンをクリックし画像を選択します。

各詳細グループに対して「重要度」、「緊急度」、「実施可能性」、「変わりやすさ」、「福祉効果の観点からの取組」を入力します（合計）は自動で計算されます。

「コメント」を入力し、③「保存」ボタンをクリックします。

全体画像を削除するときは④「クリア」ボタンをクリックします。

12

7. Step4

Step4を表示する

サイドメニューの「Step4」をクリックしてStep4の画面を開きます。

13

8. Step5

Step5を入力する

地域包括ケアシステム

Step5

Step5	Step5	Step5	Step5	Step5
Step5	Step5	Step5	Step5	Step5
Step5	Step5	Step5	Step5	Step5
Step5	Step5	Step5	Step5	Step5
Step5	Step5	Step5	Step5	Step5

コメント

保存

「編集」と「コメント」を入力し、「保存」ボタンをクリックします。

16

9. リフレクション

リフレクションを表示する

地域包括ケアシステム

ワーク選択

ストーリー1

グループ1

- Step0
- Step1
- Step2
- Step3
- Step4
- Step5
- リフレクション**

リフレクション

ストーリー1

研修メンバー

ユーザー1

ユーザー2

保存

サイドメニューの「リフレクション」をクリックしてリフレクションの画面を開きます。

17

(了)

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計1件（うち査読付論文 1件/うち国際共著 1件/うちオープンアクセス 1件）

1. 著者名 Horii Satoko, Pham Huong Thi Thu, Dang Thanh Tran Ngoc, Nguyen Chinh Thi Minh, Amaike Naomi	4. 巻 102
2. 論文標題 Nurses' perception of individual and organizational changes caused by a novel clinical training system for new graduate nurses: A qualitative research using photovoice	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nurse Education Today	6. 最初と最後の頁 104901 ~ 104901
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1016/j.nedt.2021.104901	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

〔学会発表〕 計2件（うち招待講演 0件/うち国際学会 2件）

1. 発表者名 Horii Satoko, Amaike Naomi, Pham Thi Thu Huong, Nguyen Thi Minh Chinh, Pham Duc Muc, DeSilva Tomomi, Lai Vu Kim, Pham Ngoc Bang, Pham Thi Kim Thanh, Nguyen Minh Loi
2. 発表標題 Current situation of competencies and related factors of new graduate nurses in Vietnam
3. 学会等名 3rd Annual National Vietnam Medical Education Conference, Hai Phong, Vietnam（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Horii Satoko, Pham Duc Muc, Nguyen Thanh Duc, Nguyen Thi Minh Chinh, Huynh Thi Binh, Nguyen Minh Nguyet, DeSilva Tomomi, Nguyen Minh Loi
2. 発表標題 Development of competency-based clinical training system for new graduate nurses in Vietnam
3. 学会等名 ICN Congress 2019, Singapore（国際学会）
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

6. 研究組織

	氏名 （ローマ字氏名） （研究者番号）	所属研究機関・部局・職 （機関番号）	備考
研究分担者	嶋津 多恵子 (Shimadu Taeko) (80184521)	国際医療福祉大学・大学院・教授 (32206)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	野村 亜由美 (Nomura Ayumi) (50346938)	首都大学東京・人間健康科学研究科・准教授 (22604)	
研究分担者	濱井 妙子 (Hamai Taeko) (50295565)	静岡県立大学・看護学部・講師 (23803)	
研究分担者	竹内 登美子 (Takeuchi Tomiko) (40248860)	富山県立大学・看護学部・教授 (23201)	追加：2018年4月24日
研究分担者	成木 弘子 (Naruki Hiroko) (30237622)	国立保健医療科学院・その他部局等・統括研究官 (82602)	削除：2018年4月24日

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関